

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	15	124590	避難対策事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	2	自然災害対策の強化			
目的	災害時における避難対策の強化					
対象	避難所、市民					
意図	災害時における迅速な避難及び避難所の円滑な運営を行うため環境整備を行う。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○ハザードマップの作成・配布 ○拠点避難所への防災倉庫の設置（1箇所） ○災害対策本部室機器設置 ○FM難聴世帯を対象としたアンテナ設置補助金の交付 ○災害FM放送施設緊急割込装置設置 ○防災協定締結団体との防災訓練を実施 ○避難行動要支援者名簿の整備						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				事業協力・協定		
				委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	ハザードマップ配布数	世帯	計画	37,000	36,500	
			実績	37,000	7,000	
②	防災倉庫設置数	箇所	計画	3	3	
			実績	3	1	
③	FMアンテナ設置数	件	計画	10	5	
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	自然災害時における避難場所を知っている市民の割合[まちづくり市民アンケート結果]	%	目標	77.0	70.0	
			実績	83.2	84.9	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
平成27年度中の指定になった花巻、大迫の土砂災害警戒区域の14凶郭のマップを更新し、対象地域にハザードマップを配布、周知に努めた。結果、市民の防災意識が向上し、避難場所の認知度は高まってきている。	
公共関与の妥当性	市民の避難対策は市の責務であり、市民への避難場所の周知や通信環境、避難所の環境整備を行うことは妥当である。
<input type="radio"/> 妥当である	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	
<input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	避難場所や避難方法の認知度が高まることにより、より多くの市民の安心・安全が確保される。
<input type="radio"/> 向上余地がある	
<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	避難対策に必要な最低限の費用としていることから、事業費・人件費の削減余地はない。
<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	ハザードマップや防災倉庫は全世帯を対象としている。また、既存の防災関連設備の状況に合わせた避難対策の推進を目的とした環境整備であることから、受益と負担は公平である。
<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括	
避難対策事業の推進により、避難場所の周知や災害関連情報の確実な伝達、避難所等の環境整備を図るとともに、避難勧告等発令時の市民の迅速な避難が進められるよう、市民の防災意識の向上が必要となっている。	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	02	01	15	124590	避難対策事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		31,779	17,482		△ 14,297
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	31,779	17,482		△ 14,297

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標

防災・危機管理体制の充実を図る

事業開始の背景・経緯

近年、全国各地で自然災害が多発していることから、平時における市民の防災意識を高め、災害時における迅速かつ確実な避難行動を促すため、ハザードマップの周知や防災通信環境の整備、避難所の環境整備が急務となっている。

事業概要

- ハザードマップの作成・配布
- 拠点避難所への防災倉庫の設置（1箇所）
- 災害対策本部室機器設置
- FM難聴世帯を対象としたアンテナ設置補助金の交付
- 災害FM放送施設緊急割込装置設置
- 防災協定締結団体との防災訓練を実施
- 避難行動要支援者名簿の整備

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

近年の大規模災害発生をふまえ、災害対策基本法や水防法、土砂災害防止法の見直しが行われており、避難判断基準の見直しや土砂災害発生時の対応の迅速化が求められる等、自治体に求められる役割が大きくなっている。

担当部署 部名 総合政策部 課名 防災危機管理課 担当係長 大和 俊宏 内線 476

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①ハザードマップの作成・配布 3,352千円

【内容】

市民の防災意識を高め災害時の避難が迅速に行われるよう、ハザードマップを配布。

- ・H27.7水防法の改正、浸水想定区域が150年に一度の雨量から想定し得る最大規模
- ↓
- ・H28年度末までに指定（H27.11に配布したハザードマップと浸水区域が異なる）
- ・H27年度中の指定になった花巻、大迫の土砂災害警戒区域の図郭のマップの更新（14図郭）

【実績】

印刷製本費 3,315,600円
配布委託料 36,288円

②防災倉庫設置（1箇所） 497千円

【内容】

防災資機材等の適切な保管と分散備蓄の推進を図るため、指定緊急避難場所（文化会館内）に防災倉庫を設置し、市所有の資機材及び備蓄物資を配備した。

- ・備蓄品や資機材は、振興センターの空きスペースやコミュニティ会議所有の倉庫などに保管しているため、災害時に迅速に使用・提供するための管理状態ではない。
- ・屋内に保管しているが、廊下・部屋などに保管している箇所を優先的に整備。

【実績】

委託料496,800円 文化会館内

③災害対策本部室機器設置 3,144千円

【内容】

大規模災害時に、庁内の情報共有及び他機関との連携を図るため、機器を設置。

- ・岩手県総合防災室の市町村職員防災対応研修、岩手大学の地域防災研究センターの研修等で、実際訓練した本部室の配置を参考に機器の設置。
- ・プロジェクター、スクリーン→各班の情報共有のため災害情報一覧表を常時映写する。また、各種個別事案については、都市計画基盤図1/2500相当の詳細なデータを映写し検討するために、コントラストの性能の高いものを導入した。
- ・モニターは各班ごとに設置し、数人で画面を見て検討できるようにした。
- ・消防通信設備の機器を3階に設置する(国土交通省の映像)
- ・土砂災害時の避難勧告等の発令時の参考に、行政区のデータをGIS化した。

【実績】

委託料 3,027,240円 災害対策本部室キャビネット購入 42,984円 外

④FMアンテナ設置補助（FM難聴地域世帯）

【内容】

FM難聴世帯における受信環境の改善を図るため、FM用屋外アンテナの設置世帯に補助金を交付する。（1/2補助、補助限度額25,000円）

【実績】

0円 ※補助金申請なし。

平成 28 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	02	01	15	124590	避難対策事業

(単位：千円)

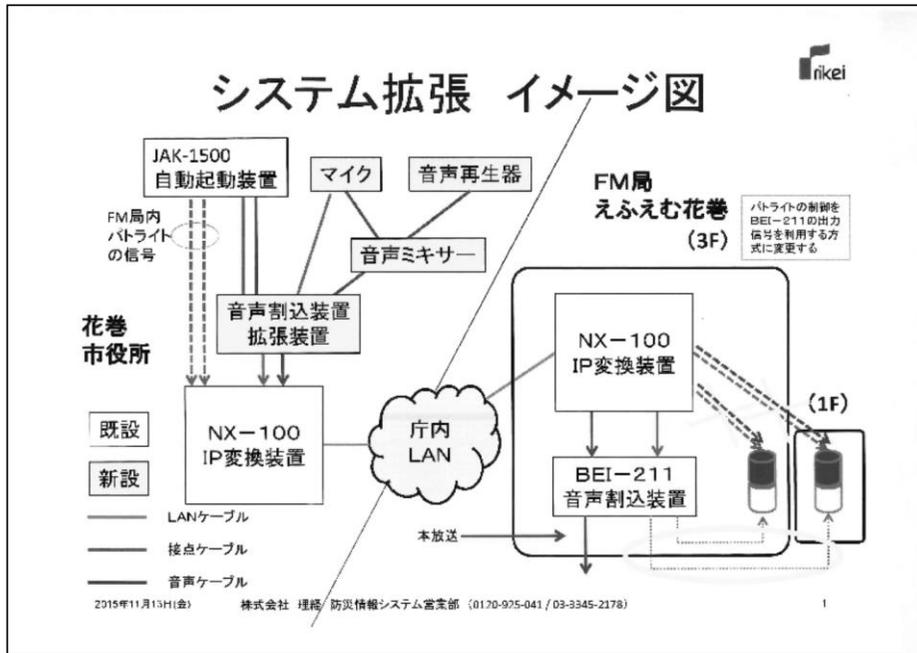
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

⑤災害FM放送施設緊急割込装置設置 2,327千円

【内容】

災害FM放送波によって自動起動する防災ラジオを土砂災害警戒地域等の住民に無償貸与しているが、避難勧告等の発令が確実に伝達できるよう従来の方法の他に整備する

- ・既設のJアラート起動装置に、マイク、音声再生器(自動起動音声)を新設



【実績】

委託料 2,327,400円

⑥防災協定締結団体との防災訓練を実施 146千円

【内容】

市と防災協定を締結している岩手県電業協会花巻支部と、大規模災害停電時、避難所の電気を確保し暖房器具等を稼働させるため、発電機の設置訓練を実施

- ・花巻地区の防災訓練で実施

【実績】

委託料 145,800円

⑦避難行動要支援者名簿の整備 6,734千円

【内容】

名簿情報について、あらかじめ避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援等関係者に提供することについて同意を得る。

【実績】

- ・非常勤職員報酬 4,487,890円 (H28.8月～H29.3 4人)
- ・社会保険料等共済費 676,448円
- ・燃料費 119,838円 (H28.8月～H29.3 3台)
- ・避難行動要支援者返信用切手 328,000円 (82円×4,000通)
- ・自動車借上料 1,008,288円 (42,012円/月×3台×8ヶ月)

⑧指定緊急避難場所の建築物耐震診断業務委託 648千円

【内容】

指定緊急避難場所及び指定避難所に指定している下中居公民館(大迫町外川目)の建築年次が昭和47年建築であり、新耐震基準を満たしているか必要となり実施。

【実績】

委託料 648,000円

⑨避難対策事業に係るその他経費 634千円

- ・修繕料 108千円
- 胡四王山送信所G P S受信機修繕 108千円
- ・消耗品購入 526千円
- 作業用手袋 58千円 外